五日刊
磐城時報
福島縣平町大字平字紺屋町壱
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町壱
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町壱
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行壱字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

平町の明年度豫算
膨大な數字出現か
人件費整調による以外には
三十五萬程度の喰止困難

平町當局では明年度の豫算編成に關係吏員必死の努力を續けてゐるが既に各課から提出された合計四十萬圓程度の要求に對し青沼町長は目下愼重な態度を以つて査定を急いでゐるが各課から要求されてゐる費目は從來極度に緊縮方針を持して來た町の財政計畫により何等目ぼしい新規事業とてなく繰延べその他必須的要求のみにても前記四十萬圓程度に達してゐるので此の點青沼町長としても思ひ切つた一大斧鉞を加ふる事は殆んど不可能だけに今や前年度の豫算總額三十三萬圓程度で喰ひ止める事は全く絶望と見るべきで豫算面三十五萬程度に喰ひ止め得ればなつて居り一方縣當局に於いて成功で、老朽高給吏職員整理等の一大英斷を敢行しない限り之れとて乏み薄く青沼町長の八面玲瓏主義により人件費整調を避けるならば卅六萬から七萬近い卒前の尨大豫算が編成されるのではないかと見られ青沼町長の査定結果は頗る注目されてゐる。

轉任の置土産に
副組頭を職員採用
金澤前所長の所爲
また〳〵問題化す

（風報）七千町民の排擊を一身に浴びて遂に土木課入りを命ぜられた前四倉築港事務所長金澤技師は近日愈々四倉を引上げる事になつたが、此れに先立ち金澤技師は所長被免の辭令を手にし二日突如として同町消防組副組頭戸田唯助氏を事務員として採用辭令を交附したが、金澤技師排擊の重大なる理由として組頭金成岩吉氏を人夫頭に採用した事の擧げられて然も自ら所長の椅子を去るべき日に不意打ちに職員採用を決行した事は綱紀紊亂も甚だしいものとして俄然問題化するに至つた。

使用許可の
延期を懇請
反色川派が
昨日出縣陳情

色川製材所の設置反對派が猛運動を續けた結果結局前に町會に於いて四名の調停委員一任と決定したが、當業者たる色川製材所社長色川勝三郎氏が入所中である爲め調停は一時中止の形になつて居り一方縣當局に於いては設立許可通りの條件を具備してゐる以上荏苒放置して置く事も出來ないので使用許可申請あつたので近く色川製材所に工場使用開始の許可を發するものと見られてゐるが、此の情勢を觀取した反對派は極度に狼狽し馬目（雅）綠川喜三郎その他數氏は四日出福當局に對し調停委員に於いて調停兩者の妥協が成立するまで許可せざる樣陳情懇請するところあつた。

軍鷄賭博團檢擧
昨日内郷地内で開帳中
一味十八名一網打盡……

昨四日午前十時頃内郷村字小島政極度に逼迫してゐる折柄とて旅人宿山形屋の裏手畑地内で頗る大掛りな軍鷄の鬪鷄賭博が開張されてゐるのを探知した平署では非番巡査を召集安藤部長指揮官となつて現場に乘り込み居合せた賭博團一味四倉町字本町渡邊金太郎（四八）外十八名を一網打盡に檢擧折柄當日は日曜にも係はらず川島、菊地主任以下總出で取調を開始した。

區長會召集
地元寄附
割當決定

平町の國道舗裝計畫に伴ふ地元負擔金は町費によるか町民の寄附に俟つか研究中であつたが財政極度に逼迫してゐる折柄とて金額の町費負擔困難である爲め大體地元負擔の半額を町費、半額を町民の寄附による事となり九日區長會を召集寄附割當てを決定する事になつた。

磐炭在軍分會創立
發會式は來十一日か三月十日
昨日協議會で正式決定

既報内郷村磐城炭礦社内の在郷軍人が内郷在軍分會から分離獨立して磐炭在郷軍人分會を設立せんと計劃中であつたが昨四日午前十時から淺野記念館に於いて設立協議會を開催協議の結果愈々正式に分會獨立を決定初代の分會長は陸軍豫備少尉の小島勞務課長が就任する事になり高坂、綴、町田、宮に各班を設け分會本部は礦業所内に置き各班との連絡統制に遺憾なきを期す筈で、磐炭在軍分會創立記念發會式は來る十一日の紀元節當日に挙行する事になつた。

入山公園出現近し
涙ぐましい勞働者連の
奉仕勞役で工事進む

（既報）入山炭礦從業員が公休日に奉仕勞役し礦業所裏山一帶を入山公園たらしむべく工事中であつたが昨四日の公休日には折柄珍らしくも積つてゐる雪の中に三百餘の勞働者が出役奉仕して遂に第五期工事たる幹線道路を竣成せしめた。此れで神苑、幹線道路、遊園地、が出來上つた譯で遊園地内の植樹と大山祇神社々殿の敷地地均し工事が竣成すれば名實共に立派な入山公園が出現する事になるが、四月中旬の山神祭典までには社殿の造營を最後として全工事完成の豫定である。

花賭博檢擧

香具師一味

三日午後二時頃平町五丁目香具師木村茂（三四）外三名は茂方座敷内で八丹と稱する花賭博開帳中平署員に踏み込まれて檢擧嚴重な取調を受けてゐる。

匡救事業費
復活陳情

去る二日の平町會に於て町議吉田寅之輔氏等の建議により總理大臣、大藏大臣、内務大臣、農林大臣に對し匡救土木事業費の復活追加の陳情をなす事になつた旨既報の如くであるが、青沼町長の名によつて六日頃陳情書を送る事になつた、陳情の内容左の如くである。

匡救土木事業は昭和七年、八年、九年三箇年繼續事業として計劃實施されてゐたが昭和九年度豫算によれば甚だしく削減されてゐるので工費を追加せねば完全な事業を遂行し得ない事明かで、殊に地方の財政は更に疲弊困憊の狀態であるから救濟の意味を兼ねて工費を追加され度い。云々

四倉の小火
未然に發見

四倉町字福田町鈴木バッ方軒先りて消火に努めた結果間もなく消し止め得た、發火の原因は不明であるが同家で午後六時頃掃集めた塵燒をしたからその殘火からではないかと見られ四倉署で取調中。

雜口句　磯上六花

窓寒く葉蘭に雪の日ざしかな
外套の片つらを刺す北の風。
日の當る障子まぶしき風邪かな。
島の松亭々として冬の海。

新田花
町暦

◆氣ップのいい、藝妓肌台の妓と言へば、山彩家の君太郎
安月給取りらしい洋服男に連れられて何處かのカフェーに納まつたが……
◆いざお勘定となるサラリーマン先生金が足りないのかモヂ〳〵、見兼ねた君太郎帶の間から袋の儘で、除いだお華をポンと投げ出し、お釣はいらないワ、
◆アッケラカンとビックリ顔の女給群を尻目に意氣揚々と引上げたところは、いよッ六代目と言ひたい程の上出來だが、若しやホ・・・さんの耳に入つて變にとられやしないか？とビク〳〵、その性だね顔色が惡るいのは……
◆三好家から福助と名乘つてデビューした新妓、月と言ひ鼻と言ひ、テモよき眺めぢやなアー、江戸ッ妓とあつて齒切れのいゝのは無類、嘘だと思ふんなら呼んで見るべし……だが本藝だか裏藝だか、あの方は知らないヨ。

社告
齋藤清見
右營業部員として入社致候に付謹告仕候
昭和九年二月五日
磐城時報社

毛糸編物、軍手、メリヤス製造人募集

一、非常時家庭工業の奬勵希望者は來れ今が最良時期
二、最も時勢に適應して將來益有望にて永年經續の望あり
三、製品は四季を通してあらゆる階級に使用され日々に消耗する故
四、如何なる場所でも簡單に作業が出來婦女子にも容易に從事出來る
五、多額の資本を要せず回收も速か故
六、僅少の勞力により比較的多大なる生産物を得る故
七、軍手袋並にメリヤス製造副業として又專業として確實有利でありますから希望者は今すぐ申込あれ全責任を以て教授す。
八、十五六才の婦女子にも容易に出來る軍手、メリヤス製造人を募集す。

平町白銀町一五
鈴木メリヤス製造所

工場擴張新築移轉廣告

毎度御引立を蒙り奉深謝候陳者此度各位の御後援により從來の平町白銀町工場にては狹隘を感ずるに至り工場擴張のため左記へ新築移轉仕候間何卒倍舊の御援助相賜はり度く移轉御通知旁々御願ひ迄申述候　敬具

昭和九年一月

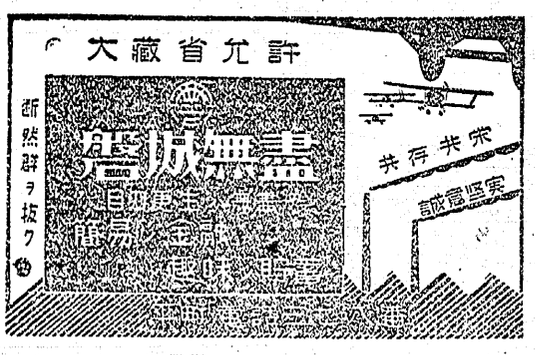
平町字七丁目
河田鐵工所
河田梅吉
電話三二九九五五番

セメント・礦用諸機械山
ヱレベーター
コンベヤー各種
UKキャリヤー・レター
ンガイド、ローラー各種
製作販賣
工事設計請負

有給外務員招聘

平町四丁目六二
片倉生命保險會社平代理店
鈴木源藏

▽藥湯無休△
増築落成　温泉旅館　熱心湯
平町七丁目（電話二〇五番）
即効有る藥湯を夏、冬共時節柄向きに取替へ毎朝七時から入れます。
旅館、貸席共家内一同に親切叮嚀に勉强致します。



お正月には經濟でおいしい一心堂の生あんを御使ひ下さい、遠近を問はず御屆け致します。

平町七丁目
一心堂
小野寺製餡所
電話六二六番

御祝儀、佛事用萬ぢう類一式勉强御注文に應じます
會津屋製菓工場
宇田川久三郎
平町七丁目一三
（呼出）電六二六

謹告

謹啓私儀此度共保生命保險株式會社磐城監督所主事として就任致候間舊に倍し御愛顧を賜り度く偏に御願申上候
先づは御挨拶まで　敬具

平町白銀町拾番地
共保生命保險株式會社
磐城監督所
福島健之

磐城鐵工機械同業組合

萬洗張、湯のし、シミヌキ
篠原洗張店
平町田町大通

最近産地かき貝豊漁に付下店直接産地より買込『かき料理』を大値下げして寒暮の御務を致します、もし御口に合ない時は決して御遠慮なく御返し下さいましてもよいのですから直ぐ取りに參ります。

▽……かき料理大安値

かきなべ　御一人前	二十五錢
同酢の物	十五錢
同フライ	二十錢
百匁	二十五錢

平警察署通り
魚清食堂部
電話六三三番

病室完備
外科専門
X光線科
平町南町
上田外科醫院
電話一二九番
入院應需

産科　婦人科

午前宅診
午後往診
◉入院隨時
◉自の便あり

平町字仲田町
井坂醫院
電話五五九番

外科

一般外科　内臓外科
性病科　X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
元赤心堂病院
安齊外科醫院
電話四七五

御婚禮用
箪笥。鏡台　特價販賣
釣洋服タンス製造元
家具、漆器、株式
簞笥、維貨
銅器、佛具　會社
丸ほん
營業所　福島縣平町三丁目　電話三五九番
振替東京二一七二四番
製作所　平町新田町　電話一八二番

吸入用酸素

純99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ

計器
体温器
寒暖計

◉秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
◉寫眞材料一式

岡内秤局
電話四〇番